

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 華陽フロンティア高等学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和3年6月29日(火) 15:30~16:45
- 3 開催場所 華陽フロンティア高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	安田 和夫	岐阜聖徳学園大学教育学部 教授
副会長	廣瀬 富久夫	本校同窓会 会長
委員	臼井 悟	鶴自治会連合会 会長
	田内 恵美	本校校友会 会長
	前田 貴子	地域創生キャリアプランナー
	松野 恵	本校PTA会長
	南谷 東子	人権擁護委員
	山口 永真	本校卒業生
学校側	増田 智至	校長
	桑原 聡	副校長
	大野 仁史	事務部長
	川瀬 隆	教頭(定時制課程)
	堀 英男	教頭(通信制課程)
	山村 奈美子	教務主任(定時制課程)
	野田 潤哉	生徒指導部長(定時制課程)
	高橋 睦志	進路指導部長(定時制課程)
	小久江 貴子	教務主任(通信制課程)
	渡邊 友也	生徒指導部長(通信制課程)
	後藤 尋史	進路・渉外部長(通信制課程)

5 会議の概要(協議事項)

(1) 本年度の教育活動について

① 学校経営の重点 ② 主な教育活動(高等学校版マニフェスト等)

意見1: ソーシャルスキルトレーニングやユニバーサルデザインを意識した授業等、生徒の特性に配慮した教育が行われている。また、定時制や通信制といった学習環境の中でも、多様な生徒の実態に配慮し、工夫してICT活用に取り組んでいる。

意見2: 生徒が、「学びの再チャレンジ」に取り組みやすい環境整備がなされている。また、教職員もカウンセリングマインドを意識して生徒と接するように心がけておりよい。

意見3：人を思いやることができる人間に育ててほしい。

意見4：小中学校等で様々な経験をしてきた生徒にとって、高校の学びだけで社会に出ていくのは難しい。卒業後の可能性を広げるという視点も意識することが大切である。

(2) スクール・ポリシーの策定について

① スクール・ポリシーとは ② 策定の流れ

意見1：新しい自分を発見するために入学する。そういう学校であって欲しい。

意見2：生徒たちは、自分の本当の力を知らない。自分の可能性を発見し、自分の道を切り開いていけるような力をつけてほしい。

意見3：興味を持って取り組めることや、好きなことを発見できるような教育活動を行ってほしい。

意見4：保護者が高校を卒業させたいと思っているから進学する、では意味がない。「今までの自分とは違う自分になる。学びなおして、前向きに社会に出ていきたい。」そういう気持ちを持った生徒を待っている学校であるというメッセージを発信してほしい。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・各委員から忌憚のない意見が多く得られた。特に、中学生に発信するメッセージ（アドミッション・ポリシー）について、委員それぞれの経験等を踏まえた意見が得られ、大変貴重な機会となった。
- ・次回は、今回の意見と「生徒及び保護者によるアンケート」結果等を踏まえ、スクール・ポリシーの策定について検討する予定である。